

## 宮城県柴田農林高等学校 [全日制課程 (食農科学科)]

### ☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県柴田農林高等学校は、「質実剛健，自律調和」を校訓とし，多様な産業界で活躍できるふるさと定住後継者の育成を目指し，地域や生徒の実態に即して，特色と魅力ある幅広い農業教育を展開します。そして，農業のすばらしさや重要性を教え，農業に対する理解者を社会に増やしていき「地域社会を担う職業人」を育成する学校を目指します。

### ★ スクール・ポリシー (三つの方針)

#### 1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 協調性を持ち，周囲を気遣い共に学んでいく姿勢を育てる。
- (2) 食に関する基礎を学び，生産過程における専門性を高める。
- (3) 6次産業の形態を理解し，各分野における取組の発展を思考する。
- (4) 地域との連携や学び続ける姿勢を持ち，社会の一人としての自覚を持った行動を養う。

#### 2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 野菜・果樹の専門的な学習において，教材を生かした学習を展開するとともに，生産物の扱い方を体験的に習得することを目指す。
- (2) 生産物の流通や加工について各分野の専門性を高め，食品製造の授業等を生かして，関連付けながら確実な技術力を養う。
- (3) 主体的で実践的な学習の中で，個々の意見を尊重し，卒業後の進路を見据えた取り組みや学習内容を充実させる。

#### 3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 食に関する分野に関心があり，素材となる生産物の栽培を学びたいという意志のある生徒。
- (2) 自ら学び，協調性を重んじて積極的に取り組んでいこうとする生徒。
- (3) 基本的な生活習慣が身につく，何事にも一生懸命取り組める生徒。

## 宮城県柴田農林高等学校 [全日制課程 (動物科学科)]

### ☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県柴田農林高等学校は、「質実剛健，自律調和」を校訓とし，多様な産業界で活躍できるふるさと定住後継者の育成を目指し，地域や生徒の実態に即して，特色と魅力ある幅広い農業教育を展開します。そして，農業のすばらしさや重要性を教え，農業に対する理解者を社会に増やしていき「地域社会を担う職業人」を育成する学校を目指します。

### ★ スクール・ポリシー (三つの方針)

#### 1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 他者を認め，協働する姿勢，礼節を尊重する姿勢を育成する。
- (2) 命を尊重し，感謝の気持ちを持って動物に接する責任感を育成する。
- (3) 情報の収集や発信に積極的に取り組み，畜産の管理技術の向上に努める力を育成する。
- (4) 地域との連携や学び続ける姿勢を持ち，社会の一人としての自覚を持った行動を育成する。

#### 2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 畜産や動物バイオテクノロジーなど，専門的な学習において，教材を生かした学習を展開するとともに，生き物の扱い方を体験的に習得することを目指す。
- (2) 動物の管理に加え畜産物の流通や加工についても，食品製造の授業等を生かして，関連付けながら確実な技術力を養う。
- (3) 身近な動物の学習において，動物に関する社会的な問題やその解決策などを探るなど，動物愛護の精神を身につけるとともに探求的な学習を進める。
- (4) 主体的で実践的な学習の中で，個々の意見を尊重し，卒業後の進路を見据えた取り組みや学習内容を充実させる。

#### 3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 積極的に食や動物について学びたいという高い志のある生徒。
- (2) 思いやりをもって動物に接することができる生徒。
- (3) 基本的な生活習慣が身につく，何事にも一生懸命取り組める生徒。

## 宮城県柴田農林高等学校 [全日制課程 (森林環境科)]

### ☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県柴田農林高等学校は、「質実剛健，自律調和」を校訓とし，多様な産業界で活躍できるふるさと定住後継者の育成を目指し，地域や生徒の実態に即して，特色と魅力ある幅広い農業教育を展開します。そして，農業のすばらしさや重要性を教え，農業に対する理解者を社会に増やしていき「地域社会を担う職業人」を育成する学校を目指します。

### ★ スクール・ポリシー (三つの方針)

#### 1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 主体的に学び，創意工夫によって自然環境問題などの諸課題の解決に向けた行動ができる力を育成する。
- (2) 林業，造園業，建設業などの基礎的，基本的な知識や技術に加え，他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力を育成する。
- (3) 自己や他者の安全に注意を払い，職業人として永続的に働き続けることのできる優れた人材を育成する。

#### 2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 樹木や大地などを教材とし，自然の中で学習を通じて，環境問題の解決や動植物の重要性についての考えを深めるとともに，課題研究などの学習により問題の解決に取り組む姿勢や，創意工夫する力を育成する。
- (2) 各種産業団体や地域の人材と連携した授業を実施し，より専門性の高い学習内容と地域産業が求める人材の育成を重視した教育を行う。
- (3) 林業，造園業の業務を想定し，実習を中心とした授業を積極的に実施することで，協働性や安全性を体験的に学習できるようにする。

#### 3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 自然環境に強い興味と関心を持ち，保全に向けた取り組みや各種ボランティア活動などにも積極的に取り組む生徒。
- (2) 林業，造園業又は建設業などに強い興味・関心を持ち，将来，地域の産業に貢献しようとする意欲のある生徒。
- (3) 中学校における部活動，生徒会活動，学級活動などにおいて協働性を重んじ，積極的に取り組み努力してきた生徒。

## 宮城県柴田農林高等学校 [全日制課程 (園芸工学科)]

### ☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県柴田農林高等学校は、「質実剛健，自律調和」を校訓とし，多様な産業界で活躍できるふるさと定住後継者の育成を目指し，地域や生徒の実態に即して，特色と魅力ある幅広い農業教育を展開します。そして，農業のすばらしさや重要性を教え，農業に対する理解者を社会に増やしていき「地域社会を担う職業人」を育成する学校を目指します。

### ★ スクール・ポリシー (三つの方針)

#### 1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- (1) 草花や園芸栽培，微生物に関する知識と実践的な態度を身に付け，農業分野の先進的なリーダーとして活躍できる資質を持った生徒を育てる。
- (2) 実験実習を通して，研究課題やテーマを意識し，自ら考えて実習に参加する態度を養う。
- (3) 挨拶ができ，時間を守り行動できる資質と態度を身に付けさせ社会で信頼される人物を育てる。

#### 2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 学科の専門分野の学習の深化を図り，自発的に取り組む課題研究のテーマを設定し知識と技術を深めさせる。
- (2) 園芸工学科として，草花やバイオテクノロジーについてより一層深く専門性を高められるよう配慮する。
- (3) 専門科目の学習と地域が結びつき，実践的な学習を深めさせる。

#### 3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- ① 基本的な生活習慣が身に付いており規範意識が高く，前向きな姿勢で農業学習に取り組める生徒。
- ② 園芸工学科の「草花」・「バイオテクノロジー」の各部門に興味関心が高く，知識と技術を習得し将来の進路に活かしていける生徒。
- ③ 中学校における学習，部活動，生徒会活動，郊外活動やボランティア活動に参加し，入学後も意欲的に行動できる生徒。